

# 1. 各国・地域別の原子力動向 (全体的には多くの国で原子力開発・推進の方向)

## (1) 原子力発電継続・推進国

原子力発電国		
欧州	フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年5月、オランダ社会党政権発足、公約「2025年の原発比率50%に低減」。</li> <li>最古のフェッセンハイム原発の2016年末迄の閉鎖明言（電力の安定供給と雇用保障が条件）。</li> <li>他の原発の建設・運転には特に影響なく、原発比50%の公約の実現性不確か。</li> <li>2013年夏、エネルギー移行に関する国民的議論終了、2014年初めに長期エネ法案議会提出へ。</li> </ul> (運) 58基、(建) 1基、(計) 1基、(提) 1基、(シェア) 74.8%
	フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェンノボイマ社、ハンヒキビ原発建設契約を露ロスアトムと締結。</li> <li>TVO社、オルキオ原発4号機建設計画を推進中。(世界の5メーカー競合中)</li> <li>2012年12月、ポシバ社、使用済み燃料最終処分場(オルキオ)の建設許可申請。</li> </ul> (運) 4基、(建) 1基、(計) 0基、(提) 2基、(シェア) 32.6%
	スウェーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010年6月、議会、脱原子力撤回法案を可決。運転中10基の原発は寿命後、建替可能に。</li> <li>2011年3月、SKB社、使用済み燃料最終処分場(フォースマルク)の建設許可申請。</li> </ul> (運) 10基、(建) 0基、(計) 0基、(提) 0基、(シェア) 38.1%
	英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011年6月、政府が原発計画維持を公式に表明、同年7月議会が新設候補の8サイトを特定。</li> <li>2012年10月、日立、英国国内での原発建設目途にホライズン社を買収。ABWR建設へ。</li> <li>2013年10月、英政府と仏EDF、ヒンクリーポイントC原発計画で合意。中国企業も参加。</li> <li>2013年12月、東芝、英原発事業者ニュージェン株の50%取得。AP1000建設の意向。</li> </ul> (運) 16基、(建) 0基、(計) 4基、(提) 7基、(シェア) 18.1%
	ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011年10月、長期エネルギー戦略発表(パクシュ原発4基の運転延長と新規2基増設)。</li> <li>「2013年にパクシュ原発5,6号機増設の入札見込み」が延びている(5炉型が候補)。</li> </ul> (運) 4基、(建) 0基、(計) 0基、(提) 2基、(シェア) 45.9%
	チェコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011年10月、テメリン原発3,4号機増設で国際入札、2012年7月、仏・露・米が応札。</li> <li>2012年11月、長期エネルギー政策発表。2040年頃迄に原発シェアを50%以上に高める。</li> <li>2013年、テメリン原発2基増設の一次評価でWHに高評価、アレバに入札失格の判定。</li> </ul> (運) 6基、(建) 0基、(計) 2基、(提) 1基、(シェア) 35.3%
	スロバキア	<ul style="list-style-type: none"> <li>2013年4月、政府、ボフニチェ5号機建設計画について露ロスアトムとの交渉開始に合意。</li> </ul> (運) 4基、(建) 2基、(計) 0基、(提) 1基、(シェア) 53.80%
	ブルガリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年3月、政府、ベレネ原発計画(2基)を断念し、コズロドイに1基増設する案を決定。</li> <li>2013年12月、政府、コズロドイ7計画について国営電力BELに東芝との協議開始を承認。</li> </ul> (運) 2基、(建) 0基、(計) 1基、(提) 0基、(シェア) 31.6%
	旧ソ連(CIS)	ロシア
ウクライナ		<ul style="list-style-type: none"> <li>建設中断中のフメルニツキ原発3,4号機が、2014年に建設再開予定。(ロシアが約85%融資)</li> <li>2012年、チェルノブイリ原発の新シェルター起工。ロシアとの合弁による燃料工場建設開始。</li> </ul> (運) 15基、(建) 0基、(計) 2基、(提) 11基、(シェア) 46.2%
アルメニア		<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年4月、政府、新規原発計画をIAEAに伝達。既設サイトに1基、別サイトに1基計画。</li> </ul> (運) 1基、(建) 0基、(計) 1基、(提) 0基、(シェア) 26.6%
アジア・中東	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年秋、国务院、原発安全計画と原発中長期発展計画を承認し、建設計画の凍結を解除。</li> <li>運開：2011年に嶺澳II-2、2012年に秦山II-4、2013年に寧徳1、紅沿河1。</li> <li>着工：2012年に福清4、陽江4、田湾3、石島湾、2013年に陽江5、田湾4。</li> <li>高速実験炉CEFR発電開始(2万kW, 2011年)、高温ガス実証炉着工(20万kW, 2012年)。</li> </ul> (運) 19基、(建) 29基、(計) 58基、(提) 118基、(シェア) 2.0%
	韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011年10月、原子力安全規制を担当する「原子力安全委員会」を新設。</li> <li>2012、13年に新古里2と新月城1が運開、新ハヌル1,2が着工。新規2サイトを決定。</li> <li>2013年12月、政府の第2次エネ基本計画案、2035年の原子力29%、4300万kWを目標。</li> </ul> (運) 23基、(建) 5基、(計) 65基、(提) 0基、(シェア) 30.4%

	インド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年4月、シン首相、「エネ需要増大の中、クリーンな原子力は重要な選択肢」。</li> <li>・2011年7月、ラジャスタン7,8着工。</li> <li>・2032年迄に原発規模6300万kWの計画維持。仏、米、露から軽水炉導入予定。</li> <li>・Thサイクルと高速炉開発に注力。高速実験炉運転中、高速原型炉2014年初臨界予定。</li> </ul>
	パキスタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年5月、同国3基目のチャシュマ原発2号機（中国製PWR, 30万kW）、運開。</li> <li>・2011年5月にチャシュマ3号機、12月に同4号機着工（中国製PWR, 34万kW）。</li> <li>・2013年9月、カラチ原発建設契約（ACP1000、2基）を中国CNNCと締結。</li> </ul>
	イラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年9月、同国初のブシェール原発（ロシアが建設）、初送電開始。</li> </ul>
北米	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年、ボーグル3,4号機（2月）とサマー3,4号機（3月）、34年ぶりに建設運転認可取得。</li> <li>・エネルギー省、小型炉（SMR）商業化支援計画。B&amp;W炉とNewScale Power炉選定。</li> <li>・2013年1月、エネ省、使用済み燃料の最終処分計画発表。2021年迄に中間貯蔵施設建設など。</li> <li>・シェールガス革命と電力需要の伸び鈍化の影響で、新規原発建設計画はスローペース。</li> </ul>
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年、改修のため長期間停止中のブルースA2、A1、ポイントルブローの3基、送電再開。</li> <li>・数ヶ所で新規原発建設を検討中だが、ほとんど無期延期の様様。</li> </ul>
中南米・アフリカ	メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年4月、エネルギー相、「石油火力からの脱却とCO2削減目標達成に原子力が不可欠」。</li> <li>・2012年3月、エネルギー相、国家エネルギー戦略公表（ラグナベルデ原発2基増設案含む）。</li> </ul>
	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏アレバがアングラ3号機（2010年着工）を建設中（2016年完成予定）。</li> <li>・2012年9月のエネルギー計画、以前からの新規4基建設提案を当面見送り。</li> </ul>
	アルゼンチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同国3基目の原発アトーチャ2号機、2014年春、発電開始予定。</li> <li>・アトーチャ3,4号機の建設計画、近く決定の見込み。露・仏・中・韓・米などが受注狙う。</li> </ul>
	南アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年3月のエネルギー計画（2030年迄に原発960万kW建設）。2014年国際入札見込み。</li> </ul>
<b>新規導入国</b>		
アジア・中東	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年12月、ニントゥアン原発第1サイトに2基建設をロシアに発注。</li> <li>・2011年10月、野田首相とズン首相、原発建設協力などを確認する共同声明発表。2基建設。</li> <li>・2012年3月、韓国との間で原子力協力覚書締結。韓国、越原発5,6号機の優先交渉権を獲得。</li> </ul>
	タイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年4月、国家エネルギー委員会、2020年以降の原発5基建設計画を3年間延期決定。</li> <li>・2012年6月、エネルギー省、電力開発計画発表（原発導入時期を3年延長、4基を2基に縮小）。</li> </ul>
	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年9月、政府代表、国連会合で、同国初の原子炉の2021年運開計画の堅持を表明。</li> <li>・2012年10月、エネルギー相、2021年運開目標の原発建設計画の遅れが出る可能性を表明。</li> </ul>
	バングラデシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年11月、ルプール原発2基の建設協定をロシアと締結。</li> <li>・2013年10月、ルプール原発の定礎式。ハシナ首相とキリエンコ・ロスアトム総裁出席。</li> </ul>
	UAE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年12月、原発4基の建設・運転者として韓国企業連合を選定。</li> <li>・2012年7月、バラカ原発1号機着工、2013年5月、同2号機着工。</li> </ul>
	ヨルダン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年3月、トウカン・エネルギー相、対外エネルギー依存削減のため原発計画堅持を表明。</li> <li>・2013年10月、政府、初の原発2基の発注先として露ロスアトムを選定。2023年運転目標。</li> </ul>
	サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年6月、KA-CARE幹部、2030年迄に原発16基を建設する計画を発表。</li> </ul>
		〔人口〕 6593万人、〔発電量〕 1484億kWh、2251kWh/人
		〔人口〕 2933万人、〔発電量〕 1051億kWh、3583kWh/人
		〔人口〕 1億5250万人、〔発電量〕 379億kWh、248kWh/人
		〔人口〕 921万人、〔発電量〕 906億kWh、9837kWh/人
		〔人口〕 632万人、〔発電量〕 143億kWh、2263kWh/人
		〔人口〕 2920万人、〔発電量〕 2171億kWh、7435kWh/人

	トルコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年5月、アックユ原発4基建設でロシアと合意（BOO方式）</li> <li>・2013年5月、シノップ原発4基建設で日仏企業連合に優先交渉権付与で合意。</li> </ul> <p>[人口] 7563万人、 [発電量] 1948億kWh、 2576kWh/人</p>
欧州	リトアニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年7月、政府、ピサギナス原発の戦略的投資家として日立を選択。</li> <li>・2012年10月の総選挙と国民投票を受けて、新政府が日立と再交渉。</li> </ul> <p>[人口] 298万人、 [発電量] 146億kWh、 4899kWh/人</p>
	ポーランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年11月、国営電力PGE、原発建設候補3地点選定。2030年迄に600万kW計画。</li> <li>・2012年3月、政府高官、「原発推進によりロシアから脱却し、温暖化ガス削減目標を達成」。</li> </ul> <p>[人口] 3889万人、 [発電量] 1511億kWh、 3885kWh/人</p>
旧ソ連 (CIS)	ベラルーシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年7月、同国初のオストロベツ原発2基建設の一括請負契約をロシアと調印。</li> <li>・2013年11月、オストロベツ原発1号機、着工。2018年11月運転予定。</li> </ul> <p>[人口] 941万人、 [発電量] 304億kWh、 3231kWh/人</p>
	カザフスタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年より世界第1位のウラン生産国。（ウラン資源量は世界第2位）</li> <li>・2012年6月、ナザルバエフ大統領、プーチン露大統領との会談で原発共同建設の可能性表明。</li> </ul> <p>[人口] 1640万人、 [発電量] 787億kWh、 4799kWh/人</p>
中南米	チリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年4月、鉱業エネルギー相、「電力需要拡大から見て原発オプション廃棄は不可能」。</li> </ul> <p>[人口] 1746万人、 [発電量] 607億kWh、 3477kWh/人</p>

## (2) 原子力後退・撤退国

原子力発電国		
西欧	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年6月、政府、2022年迄に全原発17基の廃止決定（同年内に8基廃止）。</li> <li>・2012年3月、RWEとEO n、英での原発建設計画からの撤退を表明。</li> <li>・2013年12月、第3次メルケル大連立政権発足。脱原発政策は維持。</li> </ul> <p>(運) 9基、(建) 0基、(計) 0基、(提) 0基、 (シェア) 16.1%</p>
	スイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年5月、政府、全原発5基を2034年迄に全廃（寿命50年）し新規建設しないと発表。</li> <li>・2012年4月、政府、エネルギー戦略2050発表、原発の段階的廃止は実現可能との見解表明。</li> </ul> <p>(運) 5基、(建) 0基、(計) 0基、(提) 3基、 (シェア) 35.9%</p>
	ベルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年10月、連立政権、国内原発7基の運転期間を40年として段階的廃止で合意。</li> <li>・2012年7月、政府、2015年に閉鎖予定の3基のうち1基の10年延長決定（電力供給対応）。</li> </ul> <p>(運) 7基、(建) 0基、(計) 0基、(提) 0基、 (シェア) 51.0%</p>
アジア	台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年7月、馬総統、「安全第一で原発の廃止は考えていない」。</li> <li>・2011年11月、馬総統、原発依存度減少政策発表（既存炉は40年で廃止、第4原発は完成）。</li> <li>・2014年夏頃、建設中の第4原発の建設・運転中止に関する国民投票実施の見込み。</li> </ul> <p>(運) 6基、(建) 2基、(計) 0基、(提) 0基、 (シェア) 18.4%</p>
新規導入国		
西欧	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年6月、国民投票で原発凍結賛成票が90%超。政府、原発導入計画中止を決定。</li> <li>・2012年12月、ENEL、仏EDFとのEPR協力終結を通告。</li> </ul> <p>[人口] 5940万人、 [発電量] 2883億kWh、 4854kWh/人</p>

(備考) ・(運)、(建)、(計)、(提)の基数は2014年1月3日現在（世界原子力協会 WNA データ）

(運)：運転中＝送電開始を含む。

(建)：建設中＝原子炉建屋への初コンクリート打設、大規模改修工事のため長期間停止中を含む、

(計)：計画中＝承認、投資確認、8～10年以内に運転開始見込み。

(提)：提案中＝個別プログラム、サイト提案、15年以内に運転見込み。

・原子力発電量シェアは2012年の実績値。（世界原子力協会 WNA データ、国際原子力機関 IAEA データ）

・人口は、外務省ホームページの各国・地域情勢データ。

・発電量は、IEA データ（Energy Balances of (Non-)OECD Countries 2011）。

・一人当たり発電量は概数（表中の発電量を人口で単純に割算して算出）。